

ATELIER MUJI

GINZA

お知らせ

2020年2月吉日

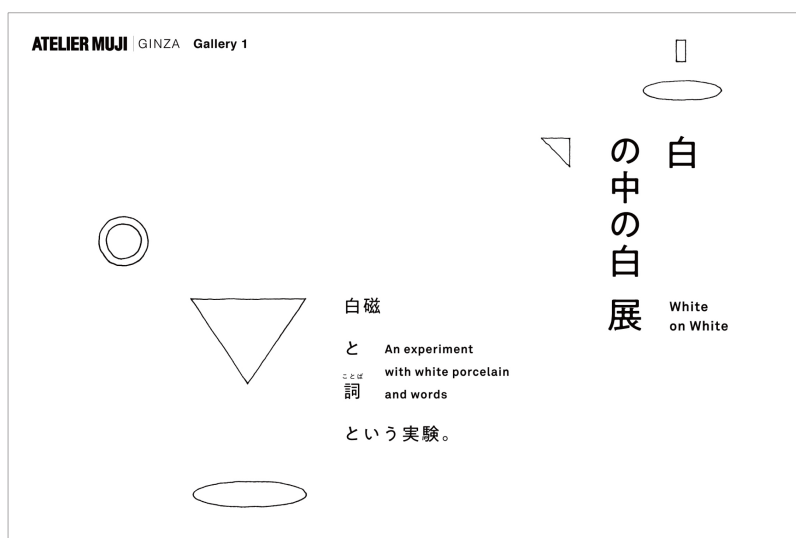
「白の中の白」展

ことば
白磁と詞 という実験。

White on White

An experiment with white porcelain and words

会期 | 2020年3月13日(金) — 7月5日(日) ATELIER MUJI GINZA Gallery1



ATELIER MUJI GINZA (東京都中央区/無印良品 銀座店内) は、2020年3月13日(金) から7月5日(日) まで、ATELIER MUJI GINZA Gallery1にて『白の中の白展 —白磁とことば詞 という実験。』を開催いたします。

例えば、テーブルの上にある一客の白いカップアンドソーサー。

私たちが今、何気なく目にしているモダンデザインの白い磁器には、実は長いものがたりがあります。

東洋が中国を筆頭に、青磁、白磁の悠久の歴史を誇る一方で、ヨーロッパでは白い陶磁器を得るための、長い研究と多大な努力が重ねられました。そして18世紀初頭に白磁の生産に成功すると、それを埋め尽くす華やかな装飾が施されていきます。「白」が、装飾を鮮やかに浮かび上がらせる素地でしかなかった時代は長く続きました。ようやく、かたちを際立たせた、無地の白い器が誕生するまでには20世紀の到来を待つこととなります。白くあることと無地であること、二つの要素の出会いが、獲得された機会だったといえるでしょう。

その希な出会いがかたちとなった白磁の数々、そして白をめぐって見出されたイメージや詩の世界まで。

ATELIER MUJI GINZA Gallery1では、モダンデザインが発見した「白」を、現代の私たちの眼で再発見する展示を開催します。

白いキャンバスに白い方形を描いた作品『White on White』(1918)で、絵画の世界に衝撃を与えたロシア、シュプレマティズムのアーティスト、カジミール・マレーヴィチがデザインした白のティーセットにはじまり、バウハウスの影響のもと、シンプルなフォルムを極めたトゥルーデ・ペートルの『ウルビーノ』シリーズ。そして、日本のプロダクトデザインの巨匠、柳宗理、森正洋らによる普段使いのモダンな白磁まで。会場には、モダンデザインの貴重なプロダクトを所蔵することで知られるインテリアデザイナー、永井敬二氏のコレクションのなかから、白い器を中心に50点以上が一堂に会します。

さらに独自の試みとして、プロダクト作品と共に、Gallery 1のセレクトで白への思索を巡らせたことばを綴る書籍10冊をご紹介します。本展タイトルとなった、20世紀の前衛詩人、北園克衛の詩の一節を含む古書も登場します。

白い器と白を描いたことばを並べる小さな実験でもある本展。この実験室で、白を視て読んで感じてみませんか。

ATELIER MUJI GINZA

- 永井敬二コレクションについて

Gallery 1 の展示品はインテリアデザイナー永井敬二が 50 年にわたり自分自身の目と手と足で世界中から集めた戦後モダンデザインを主体とする膨大なコレクションの一部をお借りしています。永井氏は 1948 年、佐賀県唐津市生まれ。1982 年に自身のスタジオ<ケイアンドデザインアソシエイツ>を設立。国内外の文化交流に貢献し、デンマーク王国より「Furniture Prize」を受賞。

【関連イベント】

トークイベント「永井さんの白い器」

今回本展で、永井敬二さんの膨大なモダンデザイン・コレクションからお借りしたのは、白い器の数々です。永井さんは白を求めて集めたわけではありませんが、「これよかるう?!」と見出したものに、かたちを際立たせる白い器が多かったと言います。きっかけは松屋銀座のデザインコレクションとの出会いでした。日本、そしてヨーロッパを代表する白い器の魅力、ものとの出会いの物語について語っていただきます。

日時 | 2020 年 3 月 14 日 (土) 18:00-19:30

会場 | 無印良品 銀座 6F ATELIER MUJI GINZA Lounge

定員 | 35 名 (参加無料・要事前予約)

※本展の関連イベントの詳細につきましては、随時公式サイトにてお知らせ致します。

※諸般の事情により開催中止または内容が変更になる場合は、公式ウェブサイトや SNS にてお知らせ致します。

ATELIER MUJI GINZA 公式サイト | <https://www.muji.com/jp/ateliermuji/>

Twitter | <https://twitter.com/ateliermuji/>

Instagram | https://www.instagram.com/ateliermuji_ginza/

Facebook | <https://www.facebook.com/ateliermujiGINZA/>

【基本情報】

「白の中の白」展 一白磁と詞^{ことば} という実験。

会期 | 2020年3月13日 (金) - 7月5日 (日)

時間 | 10:00 - 21:00 ※店舗休館の場合は、それに準じます。

※イベント等によって展示品の一部がご覧頂けない日時がございます。

詳細はATELIER MUJI GINZA 公式サイトをご覧ください。

会場 | 無印良品 銀座6F ATELIER MUJI GINZA Gallery 1 入場無料

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-3-5 無印良品 銀座 6F

主催 | 無印良品

企画協力 | 永井敬二

空間デザイン | 熊野亘

グラフィックデザイン | 東川裕子

施工 | HIGURE 17-15 cas

協力 | 山口信博、羽原肅郎、知識たかし

企画・運営 | 株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン担当・無印良品 銀座 ATELIER MUJI GINZA

【リリース 写真資料】

※本リリースに掲載した下記写真を広報掲載用にご用意しております。掲載をご希望の際は下記広報担当までご連絡ください。

ご掲載の際は、作品キャプションおよびクレジットの表記をお願いいたします。

写真番号1～3は「©知識たかし」、4～6は「©ATELIER MUJI GINZA 2020」とご記載願います。



1. カジミール・マレーヴィチ、デザインのティーポット(1923) ※



2. トゥルーデ・ペートリ、デザインのティーセット『ウルビーノ』(1934)※



3. ヴァルター・グロピウス、ルイスA・マクミラン、デザインのティーセット『Tac I』(1968) ※



4. 『煙の直線』
北園克衛著
國文社(1959)



5.永井敬二氏のコレクションの一部



6.永井敬二氏のコレクションの一部

※ デザイン年

本展へのご取材・ご掲載に関するお問い合わせ
(株)良品計画 生活雑貨部企画デザイン担当 ATELIER MUJI GINZA 担当：加藤
〒104-0061 東京都中央区銀座3-3-5 無印良品 銀座 6F
MAIL: info@ateliermuji.jp